

三次市議会議長 様

視察等報告(復命)書

報告者氏名 宍戸 稔

下記のとおり、研修が終了したので報告します。

		会派代表者	印	経理責任者	印
研修議員	宍戸 稔				
期 間	令和元年5月9日～10日				
研修先	東京都千代田区 明治大学アカデミーホール				
研修事項	第11回日本自治創造学会研究大会 新時代到来！ ～地方はどう生き残るか～				
研修内容	<p>講演「真の地方創生と地方自治」片山義博 早稲田大学公共経営大学院教授 事例発表 「地域ビジネスを成功させる知恵と実践」竹井智宏 (株)MAKOTO代表取締役 「地方はチャンス～1粒1000円のランチの奇跡」齋藤潤一 (財)こゆ地域づくり推進機構代表 「外国人対策」谷畑英吾 湖南省長 講演「少子高齢化を乗り切る取り組み～ゆでガエルにならないために～」齋藤健 衆議院議員 講演「SDGsと地域循環共生圏」中井徳太郎 環境省総合環境政策統括官 講演「日本の課題と可能性」村上由美子 OECD東京センター長 講演「スポーツが持つ力と地域活性化」藤江陽子 スポーツ庁審議官 講演「日本が売られる～自治体は最後の砦～」堤 未果 国際ジャーナリスト パネルディスカッション 新時代到来！～地方はどう生き残るか～ 問題提起 金井利之 東京大学大学院法学政治学研究科教授 パネリスト 牛山久仁彦 明治大学政治経済学部教授 土居丈朗 慶応義塾大学経済学部教授 山下祐介 首都大学東京人文学科学研究科教授 コーディネーター 穂坂邦夫 NPO法人地方自立政策研究所理事長</p>				
参考になった内容及び所見	<p>自治体の自立への取り組み 地方自治体は決して国の従属機関ではない</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 自立へのシナリオを考える「基礎的自治体の存立・基礎理念＋非営利独占的サービス事業者の大改革・行政パートナー(有償ボランティア)との協働で21世紀型村落を創る。 財源の半減に対応する 自治体の自立、役所が残って住民が消えることがないように 住民参加と協働のシナリオづくり 徹底した情報開示と住民への理解促進 ○ 現実への具体策を考える「元気で魅力的自治体の再生」 行政と議会の役割を再確認する 住民への理解と住民参加の実現 検討委員会の設置による全体事業の解剖・住民説明会の開催と住民の行政参加、 行政パートナー(有償ボランティア)の登用 <p>地域共同体の創設 住民への研修 住民提案権の確立 協働への評価(市民＋行政＋議会)</p> <p>地方創生の一つの目玉事業として、プレミアム商品券の発行があるが、人口減少に歯止めが掛けられたか。商店街は賑わい出したか。若者の流出は止まり、出生率は上がったか。 真の地方創生について考える必要が出てきている。 住民が基本。住民が意見を言える場を作る。 市民の意見を聞いて、議決する。審議は丁寧に行う。 議会は決めるところ、決めることを大切にしたい。</p>				

様式2号

視察等報告（復命）書

三次市議会議長 様

報告者氏名 山村 恵美子

下記のとおり、研修が終了したので報告します。

	会派代表者	印	経理責任者	印
研修議員	山村 恵美子			
期 間	令和1年5月9日（木）～令和1年5月10日（金）			
研 修 先	日本自治創造学会研究大会			
研 修 要 務	地方はどう生き残るか			
研修先対応者	日本自治創造学会会長 穂坂 邦夫			

概要及び所見

第1日目

講演「自立へのシナリオを語る」 穂坂 邦夫
所見:都市一極集中の加速と、地方の過疎化。税収の減少、医療・福祉の増大による地方財政の悪化。地方自治体の自立が求められている。住民参加と協働はふかけつ。徹底した情報開示と理解を求めることが必要。住民への研修、住民提案権の確立、協働への評価進めるべき。

講演「真の地方創生と地方自治」 片山 善博

所見:この5年間の地方創生、成果はあったか。数々の政策はあったが、本質的なところを考えさせない政策。平成の大合併も、合併すれば有利な起債を得られるという安易な条件につられ、地方自治体のあり方を抜本的に変える機会にならなかった。地域の自治力を点検し、地域本位に考える力と免疫力をつくる。地方議会に真の地方創生を生み出す力、期待する。

事例発表「地域ビジネスを成功させる知恵と実践」 武井 知宏

所見:東北の起業家・経営者を支援。再チャレンジ型ファンド、東北のスタートアップに投資するファンドを組織する。自治体と起業環境づくりのための育成プログラムを実施。

事例発表「外国人対策」 谷畑 英吾 (湖南市長)

所見:外国籍市民の増大、多国籍化に対応する様々な対策実施。外国人市民会議での情報開示・公聴を重視し、課題を抽出し、改善。グローバルなまちづくり。

事例発表「地方はチャンス~1粒1000円のライチの奇跡~」 齋藤 潤一

所見:地域商社こゆ財団設立。稼げる地方・自立した地域づくりを目的に設立した観光協会。世界1チャレンジしやすい町をビジョンに掲げる。都市部から人材育成塾参加者を募る。移住希望者が増える。役場と分担して、スピードある事業推進に取り組む。商品価値の高い1粒1000円のライチが評価される。

講演「少子高齢化を乗り切る取り組み」 齋藤 健 (前農林水産大臣衆議院議員) ~ゆでガエルにならライのために~

所見:農林水産業・地域の活量創造プランから改定について。農業競争力強化プログラムの決定、それを受けて関連8法の成立。国家戦略特区を通じた取り組みについて。

第2日目

講演「SDGsと地域循環共生圏」 中井 徳太郎

所見:地球環境容量の限界。我国における環境・経済・社会の課題。再生可能エネルギーの活用。脱炭素型地域交通モデルの実施。

講演「日本の課題と可能性」 村上 由美子

講演「スポーツが持つ力と地域活性化」 藤江 陽子

講演「日本が売られる~自治体は最後の砦~」 堤 未果

パネルディスカッション「新時代到来~地方はどう生き残るか~」